

『医療費控除の明細書』の書き方

控除を受ける場合は作成が必要です。

医療費通知を添付して明細書を作成する場合

令和〇年9月から令和〇年10月		氏名				
診療を受けた方	診療年月	医療機関名	医療費の総額	国保が支払った金額	国・地方自治体が支払った金額	患者負担額
合計			158,000			

患者負担額の合計または加入者の医療費の支払い額の合計を、『1 医療費通知に記載された事項』に記入します。

- * 「診療年月」が昨年のもので合計してください。
- * 「医療費のお知らせ」には、年末までの受診が全て記載されていないことがあります。例えば記載されているのが10月分までの場合、11,12月分は、下のように、領収書を集計して記入してください。

領収書から明細書を作成する場合

医療を受けた人ごと、病院・薬局ごとに1年分を集計し、『2 医療費（上記1以外）の明細』に記入します。



愛知 太郎 さん



愛知 花子 さん



記載例

令和〇年分 医療費控除の明細書

住所 岡崎市十王町二丁目9番地

氏名 愛知 太郎

高額療養費
生命保険等
補てんがある時
に記入

1 医療費通知に記載された事項

(1)(2)に医療費通知の患者負担額の合計を記入
※ただし、実際に支払った額が医療費通知の金額と違う場合は、(2)は実際の支払金額を記入)

(1) 医療費通知に記載された医療費の額 (自己負担額) (注)	(2) (1)のうちその年中に実際に支払った医療費の額	(3) (2)のうち生命保険 (高額療養費など) などで補てんされる金額
158,000 円	158,000 円	23,000 円

(1)誰が (2)どこの病院・薬局に (4)1年間でいくら支払ったかを記入
(医療費通知に載っている分を除く)

2 医療費（上記1以外）の明細

(1) 医療を受けた方の氏名	(2) 病院・薬局などの支払先の名称	(3) 医療費の区分	(4) 支払った医療費の額	(5) (4)のうち生命保険や社会保険 (高額療養費など) などで補てんされる金額
愛知 太郎	A病院	<input checked="" type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入 <input type="checkbox"/> 介護保険サービス <input type="checkbox"/> その他の医療費	19,400 円	3,000 円
〃	B薬局	<input type="checkbox"/> 診療・治療 <input checked="" type="checkbox"/> 医薬品購入 <input type="checkbox"/> 介護保険サービス <input type="checkbox"/> その他の医療費	8,590	
〃	JR、名鉄バス	<input type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入 <input checked="" type="checkbox"/> その他の医療費	1,850	
愛知 花子	C眼科	<input checked="" type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入 <input type="checkbox"/> 介護保険サービス <input type="checkbox"/> その他の医療費	5,630	
〃	名鉄バス	<input type="checkbox"/> 診療・治療 <input type="checkbox"/> 医薬品購入 <input checked="" type="checkbox"/> その他の医療費	1,850	
公共交通機関の交通費はまとめて記入				
2 の 合 計			37,320	3,000
医療費の合計			A (㉗+㉘) 195,320 円	B (㉙+㉚) 26,000 円

3 控除額の計算

支払った医療費 (合計)	195,320 円	A
保険金などで補てんされる金額	26,000	B
差引金額 (A - B)	169,320	C
所得金額の合計額		D
㉜ × 0.05 (赤字のときは0円)		E
㉜と10万円のいずれか少ない方の金額		F
医療費控除額 (C - E)	(最高200万円、赤字のときは0円)	G

分からなければ空欄で結構です

「医療費通知」は、この明細書に添付してください。領収書の添付又は提示は不要ですが、5年間、ご自宅で保存が必要です。